

事業所名 グループホーム なごみ

日付 平成 20 年 9 月 8 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 元小学校教諭
元婦人相談員

大学講師
フォトグラファー

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

浅口市と笠岡市を結ぶ2号線より北側へ少し入ったところに平屋建ての施設事業所があり、住居の少し建て込んだ感じがする地域である。しかし、国道を行きかう車の騒音も届かず、かなり閑静な環境に恵まれ、入居者にとってはおだやかで落ち着いた生活の出来る雰囲気維持できている。

職員は互いに運営理念を理解し、その達成にむけて日常具体的な方策に工夫を重ねている。そして、管理者は自己満足におごることなく謙虚に考察を深めながら、真摯に改善するよう努めている。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

事業所の理解を得るように広報等をさらに工夫し、地域との交流を深めるよう努力されるとよいと思われる。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	職員と入居者が互いに喜怒哀楽を分かち合い、家族と共に笑顔をもって居心地のよい環境を築いていこうとしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	高齢の方が多いので、心に安らぎのある環境を維持しながら自然の中に対応できる体力と習慣を身に付け、危険を避けるように心がけている。		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員は入居者の培ってきた経験を尊重し介助に活かしている。また、本人の体調等を熟知し、入居者に対して小声で話しかけたり、優しく配慮したりするよう常に心がけている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	自分らしさを大切に維持することに心がけ支援する。その為にも一人ひとりの経験や生きる知恵を尊重し、喜怒哀楽を分かち合うことに努めている。		